令和６年度　基本評価調書	所管部局	環境生活部	所管課	アイヌ政策課、文化振興課

施策名	アイヌ文化振興とアイヌの人たちの社会経済的地位の向上	施策コード	0312
政策の柱	歴史・文化・スポーツ	政策体系コード	3(6)B
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策	事務事業数	19
特定分野別計画	北海道アイヌ政策推進方策		
SDGs		総合判定	概ね順調

予算額（千円）	R6	703,363千円	R5	748,389千円	R4	940,780千円

施策目標	・アイヌ文化の保存・伝承の促進を図り、アイヌの人たちの歴史や文化に関する正しい理解を促進する。 ・コロナ5類移行後における行動制限の緩和に伴い、増加する国内外からの来道者に対し、「ウポポイ（民族共生象徴空間）」をはじめとした道内アイヌ文化関連施設の魅力の発信を強化する。 ・アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上に向け、教育の充実、産業の振興など、生活向上の取組を推進する。
現状と課題	（アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化） ・アイヌの人たちは、長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の保存・伝承が急務であることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進する必要がある。 ・アイヌ文化に触れる機会を増やすため、ウポポイをはじめとする関連施設への誘客を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図る必要がある。 ・コロナ5類移行後における行動制限の緩和に伴い、人流・インバウンドの回復に向け、アイヌ文化体験機会の創出や持続的な情報発信等の普及啓発をすすめ、人々の理解促進を図る取組が必要である。 （アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上） ・アイヌの人たちの教育や生活などにおいて、なお道民一般との格差が見られることから、アイヌの人たちへの生活向上施策を推進し、その社会的・経済的地位の向上を図る必要がある。

〈主な取組〉

今年度の取組	（アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化） ・東京2020オリンピック大会で披露したアイヌ文化発信パフォーマンスをレガシーとして継承する取組 ・アイヌ工芸品の認知度向上や販路拡大、伝統工芸の技術継承・担い手育成の取組 ・ウポポイへの誘客促進、ウポポイの開業効果を全道に波及させるため、縄文遺跡や食などの地域資源との連携や文化体験学習、イベント等でのPRにより、アイヌ文化への理解の促進並びに道内アイヌ関連施設の来訪につなげる取組 （アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上） ・道内に居住するアイヌの子弟で高等学校等に進学する能力を持ちながら経済的理由により就学が困難な者に対する支援などを行う。また、アイヌの人たちの雇用の安定を図るため、各種免許の取得を促進する。 ・アイヌの人たちの歴史や文化、生活状況についての正しい理解を促進するため、関係機関と連携した取組を行う。
実績と成果	（アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化） ・ウポポイ開業4周年記念連携イベントを実施し、アイヌ文化PRの実施（来場者数約600人以上）（R6） ・九州国立博物館でのアイヌ文化パフォーマンスの発信（R5） ・アイヌ工芸品の販路拡大に向けた取組として、札幌市内及び東京都内にアンテナショップを開設（R5） ・アイヌ伝統工芸の技術伝承の機会の創出として、アイヌ工芸家の派遣による出前講座の実施、また出前講座受講生徒の派遣によるインターン研修を実施（R5　出前講座3回、インターン研修2回） ・国内外PR動画の発信（R5） ・アイヌ伝統料理アレンジレシピ4品開発、料理教室の開催等（R5） （アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上） ・道内に居住するアイヌの子弟に対して、就学資金の支援を行い、高等教育への促進が図られた。（R3 262人、R4 248人、R5 267人） ・アイヌの人たちの就職を容易にするための特殊自動車免許等の取得に必要な経費に対し補助し、免許取得の促進が図られた。（R3 14人、R4 6人、R5 11人） ・アイヌの人たちへの歴史や文化への理解促進を図るため、道民を対象にアイヌフォーラムを札幌市で開催。（R6.2.4 75人）

参考HP①	アイヌの人たちの生活向上のために	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/seikatsu/
参考HP②	アイヌの人たちの理解を深めるために	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/rikai/
参考HP③	アイヌ文化ポータルサイト	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/165756.html

令和6年度 基本評価調書	【3(6)B_0312】アイヌ文化振興とアイヌの人たちの社会経済的地位の向上

〈**指標分析**〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
「アイヌ民族が先住民であること」の認知度		目標値	88.0	90.1	90.8	98.0	96.3%	B
		実績値	87.5	87.5	87.4			
設定理由	アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、課題である「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進、発信強化」に係る取組の成果を測る指標として設定。							
指標公表時期	毎年調査、11月頃公表	出典(根拠計画等)	北海道総合政策部「北海道の人口減少などに関する意識調査」					
分析(主な取組と成果)								
R5実績値は目標には達していないものの、各種広報媒体によるアイヌ文化のPR、フォーラムの開催による啓発により、R4実績値と同水準で推移している。								

指標名②	増加	%	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
「アイヌの人たちが独自の伝統や文化を培い、伝えていること」の認知度		目標値	86.0	90.4	91.0	98.0	96.2%	B
		実績値	87.8	87.5	87.5			
設定理由	アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、課題である「アイヌ文化の保存・伝承」に係る取組の成果を測る指標として設定。							
指標公表時期	毎年調査、11月頃公表	出典(根拠計画等)	北海道総合政策部「北海道の人口減少などに関する意識調査」					
分析(主な取組と成果)								
R5実績値は目標には達していないものの、R4年度に引き続き、各種広報媒体によるウポポイやアイヌ文化のPR、またアイヌ工芸品の販路拡大の取組としてアンテナショップの開設、アイヌ伝統工芸の技術伝承の機会の創出として、アイヌ工芸家の派遣による出前講座の実施、出前講座受講生徒の派遣によるインターン研修の実施などにより、R4実績値と同値で推移している。								

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						
分析(主な取組と成果)								

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						
分析(主な取組と成果)								

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						
分析(主な取組と成果)								

令和6年度 基本評価調書	【3(6)B_0312】アイヌ文化振興とアイヌの人たちの社会経済的地位の向上

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) ・ウポポイをはじめ、道内各地のアイヌ関連施設の誘客促進を図るため、関係団体等と連携し、普及啓発等の取組を一層進めていく必要がある。 ・アイヌの人たちへの差別や偏見をなくすため、アイヌの人たちが先住民であることや歴史的背景などについて、理解促進を図る必要がある。 (取組と成果) ・国や団体、企業と連携し、ウポポイ官民応援ネットワークと共催で開催した「ウポポイ開業4周年連携イベント」(7月12日)でアイヌ文化やウポポイをはじめ道内アイヌ関連施設をPRしたことで、来場者にアイヌ文化に関する認知を高めることができた。 ・道内に居住するアイヌの子弟で高等学校等に進学する能力を持ちながら経済的理由により就学が困難な人に対して、支援を行う必要がある。
緊急性 優先性	(課題) ・アイヌの人たちへの正しい理解の促進やウポポイの魅力向上、誘客促進に向けて、取組の充実と必要な予算の確保が必要である。 (取組と成果) ・アイヌ施策推進法に基づき国民に対する正しい理解の促進を図り、アイヌの人たちに対するいわれのない差別の解消に努めるとともに、アイヌ政策推進交付金予算の十分な確保、ウポポイの誘客促進などについて、国に対して、提案・要望を実施している。 (アイヌ政策推進交付金予算額　R3 20億円、R4 20.5億円、R5 20.3億円、R6 20億円) (ウポポイ誘客数　R3 190,618人、R4 369,038人、R5 333,097人)

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
アイヌの子弟に対して就学資金の支援を行った人数	262人(R3年度)	248人(R4年度)	219人(R5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
道内に居住するアイヌの子弟で高等学校等に進学する能力を持ちながら、経済的理由により就学が困難な人に対し、就学資金の支援を行う必要がある。

(状況) 少子化傾向の影響により支援対象者が減少傾向にあるが、引き続き経済的な理由により高等学校等への進学を断念することがないよう、希望者に対して必要な支援を行っていく。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
北海道立アイヌ総合センター年間利用者数	4,356人(R3年度)	9,651人(R4年度)	9,537人(R5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
アイヌ文化に触れる機会を増やすため、関連施設への誘客を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図る必要がある。

(状況) R5年度はコロナ禍の影響も残り、また工事による閉館期間もあり利用者数は横ばいであった。さらなるアイヌ関連施設PRにより今後利用者数増につなげていく。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

令和6年度 基本評価調書	【3(6)B_0312】アイヌ文化振興とアイヌの人たちの社会経済的地位の向上

〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	b		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

（該当なし）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	アイヌ民族に関する認知度やアイヌの歴史・文化に関する理解度の更なる向上のため、「北海道アイヌ政策推進方策」に掲げる施策の柱である「理解の促進」、「生活の向上」、「文化の振興」、「地域、産業及び観光の振興」、「多様な文化との交流促進」を総合的に推進する。具体的には、差別解消に向けた啓発や教育活動、アイヌの方々への各種支援、アイヌ関連施設PR、文化継承促進等に取り組む。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策の緊急性、優先性】 ウポポイ等の活用による効果的・効率的な執行体制の構築を進めること

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		ウポポイへの年間来場者数100万人達成に向けた全庁での誘客促進のため、関係課と密に連携して取組を進める必要があることから、兼職課長及び兼務主幹の配置を継続するとともに、アイヌ政策の推進に必要な執行体制の構築に努める。
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	アイヌの歴史・文化を「見る」、「聞く」、「触れる」、「学ぶ」ことができる機会や場を通じて、アイヌの歴史・文化への理解促進を図る。 地域のアイヌ関連施設を訪れアイヌ文化を体験する取組を通じてアイヌ文化の魅力発信・ウポポイへの誘客促進を図る。 2020年東京オリンピック札幌開催で披露されたアイヌ舞踊パフォーマンスをレガシーとして、国内外に広く発信するとともに、将来に向けてアイヌ舞踊の担い手を育成する。・道内各地域の特色あるアイヌ工芸品の魅力を発信するため、ポップアップストア等の販売機会の拡大と、出前講座・技術研修等を通じた担い手の育成に取り組む。 差別解消に向けた啓発活動や、アイヌの方々への各種支援を継続することにより、さらなる理解の促進、生活の向上に取組む。
	②	
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	アイヌ文化振興とアイヌの人たちの社会経済的地位の向上	施策コード	0312

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	ACTION 結果への対応（令和6年度） 二次評価意見への対応状況
1001		一般	生活館等整備事業費補助金	アイヌの人たちの生活向上を図るため、市町村が行う生活館の運営費に対する補助を行うための業務	アイヌ政策課	0	108,641	36,217	0.4	0.4	0.8	115,049					
1002		一般	生活環境施設改善整備事務費	地方改善施設整備事業（アイヌ地区）及び生活館の運営指導を行うための業務	アイヌ政策課	0	457	229	0.2	0.2	0.4	3,661					
1003		一般	アイヌ高等学校等進学奨励費	北海道に居住するアイヌの子弟で、高等学校又は大学等に進学する能力を持ちながら、経済的理由により修学が困難な者に対する補助金（貸付金）の給付を行うための業務	アイヌ政策課	0	117,380	46,678	0.6	3.3	3.9	148,619					
1004		一般	アイヌ専修学校等進学奨励費補助金	北海道に居住するアイヌの子弟で専修学校又は各種学校に進学しながら、経済的理由により修学が困難な者に対する助成を行うための業務	アイヌ政策課	0	10,243	5,122	0.4	1.7	2.1	27,064					
1005		一般	アイヌ高等学校通学費補助金	高等学校等進学奨励費補助金の交付を受け、さらに高額な通学費を支出する世帯に対する補助を行うための業務	アイヌ政策課	0	1,194	1,194	0.4	1.7	2.1	18,015					
1006		一般	アイヌ就職奨励事業費補助金	アイヌの人たちの就職を容易にするための特殊自動車免許等の取得及び中学卒業後、就職のために必要な経費に対する補助を行うための業務	アイヌ政策課	0	650	650	0.4	0.0	0.4	3,854					
1007		一般	アイヌ中小企業振興特別対策費補助金	アイヌ中小企業の健全な発展に資するため、（公社）北海道アイヌ協会が実施する民芸品展示・販売等の事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課	0	7,165	7,165	0.2	0.0	0.2	8,767					
1008		一般	アイヌ中小企業経営改善指導事業費補助金	アイヌ中小企業の健全な発展に資するため、（公社）北海道アイヌ協会が実施する指導事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課	0	2,996	2,996	0.2	0.0	0.2	4,598					
1009		一般	アイヌ雇用促進費補助金	アイヌの人たちの就職支援のための相談対応に関する業務	アイヌ政策課	0	1,439	1,439	0.4	0.0	0.4	4,643					
1010		一般	アイヌ協会補助金	アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上を図るため、（公社）北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課	0	38,896	38,896	0.6	0.0	0.6	43,702					
1011		事務	アイヌ政策課総合調整等業務	道議会に関する事務、予算決算等に関する事務全般及びアイヌ政策課内の事務の処理に関する業務	アイヌ政策課	0	0	0	0.3	0.0	0.3	2,403					
1012		一般	アイヌ生活実態調査費	今後のアイヌ施策のあり方を検討するために必要な基礎資料を得るため、本道におけるアイヌの人たちの生活実態の調査を行うための業務	アイヌ政策課	0	0	0	0.7	0.0	0.7	5,607					
1013		一般	アイヌ民族文化財団事業費補助金	アイヌ施策推進法に基づき設置された（公財）アイヌ民族文化財団の補助に関する業務	アイヌ政策課	0	303,735	303,735	0.8	0.0	0.8	310,143			【事務事業のコスト】 アイヌ施策推進法の施行やウポポイの開設を踏まえ、本補助金の対象である普及啓発等の事業について、国及び道の役割分担の整理を行った上で国事業への移行や、事業効果の検証を踏まえた事業費の精査を確実に行うなど、必要な見直しを国に対し求めること		アイヌ施策推進法が施行され、国が主体となり、全国的な視点に立ってアイヌ施策を推進することとなったことから、同法に基づく国、地方公共団体の責務に応じて、補助事業に係る国の負担割合の引き上げなどについて、国費予算要望等を引き続き行っていく。
1014		事務	アイヌ文化等の情報発信に関する事務	民間企業や関係団体等と連携して、アイヌ文化等に関する道民の理解を促進するためのフォーラムや、アイヌ文化の情報発信のあり方について検討する会議の実施、運営	アイヌ政策課	0	0	0	1.3	0.0	1.3	10,413					
1015		一般	アイヌ総合センター管理運営費	道立アイヌ総合センターの指定管理に関する業務	アイヌ政策課	0	10,567	10,567	1.0	0.0	1.0	18,577					
1016		一般	ウポポイ・アイヌ文化関連施設等魅力発信事業	アイヌ文化の魅力を発信し、ウポポイをはじめ地域のアイヌ文化施設への来訪促進を図るため、道内外で開催するイベント等でのPRのほか、アイヌの食文化を通じた新たな関心層の発掘を実施。	アイヌ政策課	0	33,133	33,133	0.8	0.0	0.8	39,541	①	改善（取組分析）	【施策の緊急性、優先性・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	改善	ウポポイへの年間来場者数100万人達成に向けた全庁での誘客促進のため、関係課と密に連携して取組を進める必要があることから、兼職課長及び兼務主幹の配置を継続するとともに、アイヌ政策の推進に必要な執行体制の構築に努める。
1017		一般	アイヌ文化パフォーマンス発信事業	道内各地域の特色あるアイヌ舞踊や歌等を取り入れたアイヌ舞踊パフォーマンス「ウポポ ヤン リムセ ヤン」を、国内をはじめ海外にも広く発信するとともに、舞踊を継承する担い手の育成を行う。	アイヌ政策課	0	43,060	43,060	0.8	0.0	0.8	49,468	①	改善（取組分析）		改善	
1018		一般	アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成推進事業	道内各地域の特色あるアイヌ工芸品の魅力に触れる機会を増やすため、民営アンテナショップの支援等により販路拡大を図るとともに、伝統技術の保存や伝承を担う「若き担い手」の育成を行う。	アイヌ政策課	0	13,555	13,555	0.8	0.0	0.8	19,963	①	改善（取組分析）		改善	
0837		一般	アイヌ文化地域振興支援事業	道内各地におけるアイヌ文化振興と継承者育成等の課題に対し、道立博物館の蓄積を活かした支援を行い、地域に即した理解促進や関心の高まりに繋げ、文化継承の人材育成及びウポポイへの誘客を促す。	文化振興課	0	10,252	10,252	0.0	0.5	0.5	14,257					
計						0	703,363	554,888	10.3	7.8	18.1						